

令和7年度（第70期生）卒業研究・卒業設計発表会プログラム

令和8年2月25日（水）

A会場 A104 教場（午前）10:30～11:31（午後）13:20～15:30

【A会場（午前の部）】

セッション A-1 10:30～11:27（57分）

（司会：田口准教授，進行係：溝口准教授）

発表番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
1	1030～	10	小野 颯太	Swivel ノズルのノズル偏向角が壁面静圧に与える影響	大谷浄
2	1040～	21	柿元 すずな 吉田 千景 鈴木 理子	超音速偏燃焼のある SCRAMjet 推力の解析	小幡茂男
3	1101～	16	大矢 秀一 生井 玲音	宇宙推進機作動環境評価 –圧力感度比計測–	中山宜典
4				宇宙推進機作動環境評価 –温度分布計測–	中山宜典
5	1117～	10	武田 範明	固体ロケットモータ排気流の温度分布計測 –マッハ数の推定評価–	中山宜典

【A会場（午後の部）】

セッション A-2 13:20～14:04（44分）

（司会：大谷准教授，進行係：田口准教授）

発表番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
6	1320～	14	金山 泰成 高野 暁嗣	ゲルトラー渦起因空力加熱の抑制法と非定常挙動に関する数値解析	井藤創
7	1334～	10	福岡 夏輝	低レイノルズ数領域における急出発翼の加速距離が揚力の時系列変化に及ぼす影響	溝口誠
8	1344～	10	浦 彪仁	乱れ強さと積分スケールが NACA0012 翼型の揚抗力特性に及ぼす影響	溝口誠
9	1354～	10	浅利 勇太	係留飛行する小型無人機のピッチ角速度と空力特性の関係	溝口誠

セッション A-3 14:30~15:30 (60分)

(司会：溝口准教授, 進行係：大谷准教授)

発表 番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
10	1430~	10	橋本 優希	グライダーの構想設計	檜谷賢士
11	1440~	10	荒井 允裕	低速風洞による波状前縁翼の翼面流れに関する研究	檜谷賢士
12	1450~	10	吉森 貴洲	遷音速におけるブーゼマン複葉翼機の表面流れに関する 実験的研究	檜谷賢士
13	1500~	10	辻井 爽太	変形する物体表面に適用可能な強度法感温塗料に関する 研究	田口正人
14	1510~	10	赤間 瑛心	光源制御型複合感圧塗料に関する研究	田口正人
15	1520~	10	石井 天琉	超音速流れにおける Spike-Disk-Cylinder 形状による空 気抵抗低減に関する研究	田口正人

B会場 A106 教場 (午前) 10:45~11:29 (午後) 13:10~15:30

【B会場 (午前の部)】

セッション B-1 10:45~11:29 (44分)

(司会：松下講師，進行係：高野准教授)

発表 番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
16	1045~	14	木村 思温 福島 颯	ホバリング性能に対する有翼ヘリコプタの翼弦長と翼幅の影響	糸賀紀晶
17	1059~	10	岡 珠希	ヘリコプタ後流中のプロペラ特性	有田俊作
18	1109~	10	鈴木 みのり	ヘリコプタの渦輪状態からの回復機動の検証	有田俊作
19	1119~	10	鈴木 梨月	ヘリコプタ搭載消火システム自給水ホースの揺動解析	有田俊作

【B会場 (午後の部)】

セッション B-2 13:10~14:00 (50分)

(司会：高野准教授，進行係：有田准教授)

発表 番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
20	1310~	10	松永 零央	ハンググライダーのロール軸およびピッチ軸まわりの慣性モーメントの推定	越智徳昌
21	1320~	10	小山 英二郎	ハンググライダーの機動原理に関する研究	越智徳昌
22	1330~	10	東 希穂	ハンググライダー・パイロットの慣性モーメントと身体特性の関係	越智徳昌
23	1340~	10	姫田 大輝	巻き取り収納可能な展開翼構造の提案と評価	田中宏明
24	1350~	10	山本 康平	切り紙構造膜の面外変形に関する実験的考察 一超小型衛星用軽量熱制御デバイスへの応用一	松下将典

セッション B-3 14:20~15:30 (70分)

(司会：有田准教授, 進行係：松下講師)

発表 番号	時間	分	発表者氏名	題目	指導教官
25	1420~	10	吉田 大鳳	ベクトル演算によるバイアス比例航法近似とドローン着陸誘導への応用に関する研究	山崎武志
26	1430~	10	河口 心哉	地球-月系ラグランジュ点まわりの周期軌道に関する研究	山崎武志
27	1440~	10	川村 真之輔	小型高性能航空機防御用無人航空機の誘導に関する研究	山崎武志
28	1450~	10	土屋 翼	摂動を考慮した人工衛星の編隊飛行制御に関する研究	山崎武志
29	1500~	10	西 祐友	複数飛翔体の同時到着軌道最適化に関する研究	高野博行
30	1510~	10	富川 晃	地球周回ラグランジュ点間の移行軌道最適化に関する研究	高野博行
31	1520~	10	原 碧快	小型高性能航空機の宙返り飛行最適化に関する研究	高野博行

15:50 ~ 16:10 学科長総評、学会賞受賞式

人数 \ 時間	発表時間	質疑応答	合計時間
単独発表	7分	3分	10分
共同発表	2名	10分	※
	3名	15分	※
	4名	20分	※

※ 質疑の時間は、テーマ×3分、人数×2分のうち、長い方

例 3人で1テーマを発表：質疑6分（2分×3人）

3人で3テーマを発表：質疑9分（3分×3テーマ）